

新居浜工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	英会話 3	
科目基礎情報							
科目番号	104711			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	演習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科			対象学年	5		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	New Time to Communicate 南雲堂						
担当教員	平田 隆一郎						
到達目標							
1. 会話に必要な基礎的な語彙や表現を身に付け、英語でコミュニケーションを取ることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目 1		テキストで学んだ語彙や表現を活用して、仲間と英語でコミュニケーションを取ることができる。		仲間と英語でコミュニケーションを取る姿勢が感じられる。		仲間と英語でコミュニケーションを取る姿勢が感じられない。	
学科の到達目標項目との関係							
コミュニケーション能力 (E)							
教育方法等							
概要	スピーキング活動を主体とした教材を用いて、英語によるコミュニケーション能力の向上を目指す。実際に英語を口に出し、英語を「使う」ことが本授業のねらいです。						
授業の進め方・方法	英語でのやり取りに役立つ表現を学び、会話練習をします。その後、自由英作文を行い、クラスメートに発表します。						
注意点	英語を話すためには、英語を話す練習が必要です。みんなで楽しく英語を話そう！						
本科目の区分							
Webシラバスと本校履修要覧の科目区分では表記が異なるので注意すること。 本科目は履修要覧(p.9)に記載する「(4)自由選択科目」である。							
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	Unit 1 Meeting People	1			
		2週	Unit 2 Getting to Know Your Classmates	1			
		3週	Unit 3 Talking About Classes	1			
		4週	Unit 8 Talking About the Vacation	1			
		5週	Unit 4 Talking About Your Daily Life	1			
		6週	Unit 5 Talking About People - Personality	1			
		7週	Mid-term exam	1			
		8週	Speaking activities	1			
	2ndQ	9週	Unit 6 Talking About People - Appearance	1			
		10週	Unit 7 Talking About Last Weekend	1			
		11週	Unit 10 Talking About Foods and Recipes	1			
		12週	Unit 11 Talking About Travel	1			
		13週	Unit 12 Talking About Hometowns	1			
		14週	Unit 14 Talking About Future Plans	1			
		15週	End-term exam	1			
		16週	Speaking activities	1			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用能力向上のための学習	英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16	

				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7,前8,前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15,前16

評価割合			
	試験	課題	合計
総合評価割合	50	50	100
基礎的能力	50	50	100